

学校教育目標

『かしこく・やさしく・たくましく』



川越小だより

〈目指す学校像〉

『思いやり日本一の学校』

〈磨こう3つの玉〉

○みつけ玉

○しんせつ玉

○がまん玉

2月号

令和7年2月3日

寒さに負けない体をつくろう

校長 新家子 直之



今日は立春ですが、気象データによると一年で一番気温が低いのはこの時期とのことで、春の暖かさが待ち遠しいこの頃です。

2月になりました。今月の生活目標は『寒さに負けない体をつくろう』になっています。川小は、休み時間には校庭で運動遊びをしている子どもたちがとても多い学校ですが、運動することは、一般的な体力を高めるだけでなく、体の免疫機能を高め、病気と闘う防衛体力も高めてくれます。また、気分転換やストレスの発散もできることから集中力も高まり学習にも良い影響を及ぼしてくれます。

毎日少しでも運動を続けることで、感染症が流行するこの時期を乗り切り、学年のまとめがしっかりできるとよいなと思っているところです。

さて先日、本年度の新体力テストの結果について、埼玉県のデータが届きました。これを川越市の数値と併せて本校の結果と比較すると下表のようになりました。

令和6年度 新体力テスト 川越小と県市の平均値の比較

数字は川越小の平均値

◎県市とも上回っている ○市を上回っている △市を下回っている ▲県市とも下回っている

	男子						女子					
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
握力 (kg)	8.41 ▲	9.85 ▲	12.46 ◎	13.93 ▲	14.74 ▲	18.87 ○	8.88 ◎	9.30 ▲	11.88 ◎	12.76 ▲	15.23 ▲	18.41 ▲
上体起こし (回)	12.41 ◎	14.31 ▲	17.88 ◎	19.25 ○	19.70 ▲	22.13 ▲	12.50 ◎	15.17 ◎	17.12 ◎	18.12 ▲	18.45 ▲	21.82 ◎
長座体前屈 (回)	25.08 ▲	29.38 ◎	26.85 ▲	34.05 ◎	47.38 ◎	38.91 ◎	28.07 ▲	33.91 ◎	31.19 ▲	38.80 ◎	50.30 ◎	44.32 ◎
反復横跳び (点)	28.86 ◎	27.79 ▲	34.62 ○	42.69 ◎	41.42 ▲	48.65 ◎	26.45 ○	27.05 ▲	33.69 ◎	39.90 ◎	41.91 ◎	47.23 ◎
シャトルラン (回)	22.47 ◎	27.98 ▲	37.85 ○	43.24 ○	46.51 ▲	51.83 ▲	19.46 ◎	23.29 ○	27.50 ▲	33.70 ○	36.55 ▲	41.84 ▲
50m走 (秒)	11.82 ▲	10.54 ◎	10.02 ◎	9.79 ○	9.40 ○	8.76 ◎	12.15 ▲	10.79 ◎	10.81 ▲	10.22 ▲	9.55 ◎	9.23 ◎
立ち幅跳び (cm)	116.44 ◎	125.49 ○	121.41 ▲	148.98 ◎	152.71 ○	166.17 ◎	110.92 ◎	117.49 ○	107.58 ▲	144.23 ◎	148.71 ◎	153.36 ○
ボール投げ (m)	8.45 ◎	11.02 ◎	13.01 ▲	16.76 ○	17.03 ▲	22.06 ○	5.74 ◎	7.56 ◎	8.43 ▲	10.46 ▲	13.43 ◎	13.91 ▲

本校は、県市の平均を両方とも上回っている種目数が、これで3年続けて伸びており、子どもたちの体力が向上しています。

また、体育科の学校研究を通して授業改善が図られ、意識調査では『運動が好き』と回答する児童も増えています。また、本研究では、体育の学習の中での、自分と仲間、自分と運動との有効な関りを通して「自己有用感」「自己効力感」を高めることをねらいとしており、それも向上しています。

学校体育の目標は、「生涯にわたって心身の健康を維持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成する」ことです。

運動習慣の二極化といわれて久しいですが、学校の中だけでなく、生活全体の中で自ら運動に取り組んでいける子どもたちを育てていきたいと思えます。ご家庭でも、子どもたちが運動できる機会を作っていただけたら幸いです。

1月の活動の様子

・ 6年生 箏体験



・ 4年生 サッカー出前授業



12月の活動の様子

・ 川小誕生まつり



男女平等教育の推進について

川越市男女平等教育推進委員会は、第六次川越市男女共同参画基本計画に基づき、男女共同参画意識を育む学校教育の充実に努めること、男女平等の観点を教育活動全体で見直し、児童生徒の発達段階に応じた指導内容・指導方法の工夫改善を行うことが求められています。本校においても引き続き一人一人を大切にした教育の充実に努めてまいります。

「男女平等教育の推進（保護者用）」(スライド資料)を参照ください。(上記 QR コード)